

【東京】「海外引越しの敷居は決して高くない。案件があれば、躊躇せず踏み込んで欲しい」。海外引越事業を展開しているジャ



パンムーブ（神奈川県横須賀市）の田頭千恵社長は、「相談に乗るので気軽に声を掛けてもらえたらうれしい」と呼び掛ける。グループ会社である若吉

海外引越し 倍増 今期

ジャパンムーブ社長
田頭 千恵氏

ロジスティクスが、全国引越専門協同組合連合会（北澤聡会長）の海外引越センター（東京都渋谷区）を1月に開設。ジャパンムーブが運営を委ねられている。2015年9月期はハトのグループに加入する事業者の要請に基づき、50件程度の海外引越業務を受託した。

全国の事業者と連携



り、国内引越事業への波及効果も期待できる」。16年9月期は、全国引越専に

払い、海外引越しの世界に踏み出して欲しい。皆と一緒にハトの海外引越しを広めていきたい」。事業の拡大は単独では限界があるとし、全国の事業者との連携強化に新たな活路を見いだしたい考えだ。

「電話でもメールでも、遠慮せずに相談してもらいたい。顧客への電話を代わりに掛けることもするし、可能であれば営業にも同行させていただけ」

海外引越しへの理解を促進するため、「チャンスがあれば説明会を行いたい」と話す。（沢田頭嗣）

「顧客にとっては、窓口が一本化されていることが望ましい。海外引越しを積極的に手掛けることによ